

質疑あれこれ



9月定例会

質疑あれこれ

お知らせ

一般質問

トピックス

追跡

総合福祉センター（しいの木・ひまわり）の指定管理者の指定

Q 社会福祉協議会を指定管理者とするメリットは。

A 民間の活力、ノウハウやきめ細かな質の高いサービスが期待できると。

令和元年度一般会計決算

へふるさと寄附金

Q ふるさと寄附金事業の実績は。

A 寄附額は2496万円で、経費は1098万円であった。一方、町民税の寄附金控除額は1914万円であった。

へとよやまタウンバス

Q タウンバスの利用者が減少したのは、新型コロナウイルス感染症の影響からか。

A 令和2年3月は対前年比22%減となり、新型コロナウイルス感染症の影響はあったと考える。

タウンバス利用者数	
令和元年度	71,851人
平成30年度	75,126人
差引	△3,275人
対前年度比	△4%
令和2年3月	4,882人
平成31年3月	6,282人
差引	△1,400人
対前年比	△22%

へ国際交流員

Q 国際交流員の業務内容と現状は。

A 米国渡航時の支援やグラント郡との姉妹提携時の通訳、広報へのコラムの掲載などを行った。国際交流員は3月に帰国しており、テレワークを行っていたが、令和2年7月に契約が終了している。

現在、後任については、コロナ禍により、自治体国際化協会が人材を斡旋できない状況である。



へ自転車用ヘルメット

Q 自転車用ヘルメット購入費用の一部補助を実施したが、今後の課題は。

A 申請者数は112人。中学生以下が90人、65歳以上が22人。高齢者の申請者を増やしていくことが課題であると考ええる。今後引き続きPRに務める。

へヒコーキのまちイメージアップ

Q これまでの実績と今後の展望は。



▲ヒコーキのおしごと参観日

A ヒコーキのまち豊山町をイメージして開発した「SORAランチ」と「ヒコーキスイーツ」をPRした。また、あいち航空ミュージアムで「ヒコーキのおしごと参観日」を開催した。

今後は、開催したイベントや取り組みを恒常的なものに発展させていき、ヒコーキのまち豊山町というイメージの定着を図りたい。

へ自治会活動

Q 新型コロナウイルス感染症の拡大によつて、自治会の総会が年度内にできず、役員の引き継ぎや活動の停滞が懸念される。地区役員からどのような相談があったか。また、どのような対応をしたのか。

A 総会が開催できない、役員の引き継ぎが円滑にできないなどの相談があった。

書面開催や参加人数の制限などを提案した。

へファミリーサポート

Q ファミリーサポートの利用数減少の理由と今後の課題は。

A 利用者の子どもの大きくなり、日曜日を利用しなくなつたためである。今後は、広く制度の周知を行い、会員の増加に努める。

へ健康マイレージ

Q 健康マイレージの対象に小学生と中学生を加えた理由は。

A 夏休み期間中、早寝早起き、朝食の摂取など目標を設定することにより、生活リズムの崩れを防止するためである。

へ農業用水路ゲート

Q 補修工事で、ゲートの場所を移動させた理由は。

A 油圧式からワイヤー式に変更し、操作位置が変わつたためである。

へプレミアム商品券

Q プレミアム商品券事業の実績は。

A 商品券使用枚数は4万3416枚で、使用金額は2170万8000円、うちプレミアム分は434万1600円である。